

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020年 9月 1日作成 第3版

研究課題名	転移性肝癌の治療成績に関する観察研究
研究の対象	1992年4月1日以降に横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターで転移性肝癌に対して肝切除術を施行した患者さん
研究目的 ・方法	転移性肝癌の術後合併症発症率、術後の生存率、再発率などの検討を行い、より良い治療につなげることを目的としています。診療録から過去の情報を収集しますので、患者さんに新たにご負担いただくことはありません。
研究期間	西暦 2019年 4月 26日 ～ 西暦 2026年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	<ul style="list-style-type: none">・背景情報：年齢、性別、既往歴、併存疾患、身長、体重・血液検査：血算、白血球分画（白血球数、好中球数など）、生化学（アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、クレアチニンなど）、凝固（PT-INR、APTT、Dダイマー）、腫瘍マーカー（AFP PIVKA-II, GEA, CA19-9）・機能検査、画像検査：CT、MRI、PET-CT、12誘導心電図、呼吸機能検査など・術前診断、周術期治療の種類、術前治療、化学療法（レジメン投与期間など）・手術情報：手術時間、出血量、術式、腫瘍径、合併症・病理所見 など
外部への 試料・情報の 提供	下記のように当院にデータを集積しますが、集積したデータは参加施設である横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター外科と共有します。その際は、匿名化された電子データにパスワードをかけて授受します。参加施設でも当院と同様に管理・廃棄します。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	横浜市立大学附属市民総合医療センターからデータの提供を受けます。氏名や生年月日、カルテIDなど個人を特定できるデータは削除し、電子データにパスワードをかけて提出します。当院で収集したデータおよび参加施設から提供を受けたデータは、横浜市立大学附属病院消化器・腫瘍外科学教室で、パスワードのかかるPCで管理します。個人情報情報は横浜市立大学の安全管理措置規定に従い、厳重に管理します。
研究組織	研究代表施設：横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科学教室 熊本 宜文 参加施設：横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター外科 武田 和永

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学 医学部医学研究科 消化器腫瘍外科学 （研究責任者）熊本 宜文

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-787-2650